

—FIV(猫エイズ・猫後天性免疫不全症候群)で口内炎の猫 マイケルくん—

小さい頃から、大きな怪我も病気もなく元気に過ごしていたマイケルくん。
お尻を噛まれた様な跡を見つけ、それからしばらくして急に元気がなくなっ
たため、動物病院へ連れていき血液検査をしてもらいました。
検査の結果はFIV(猫エイズ)と診断されました…。

徐々に免疫力が下がり、口内炎になり痛みのため食事を嫌がるようになり
通院による点滴と抗生物質での治療で、一時的には回復するのですが
治療に行く頻度も、日に日に短くなり病院に行く回数も増えてしまい
動物保護団体ハッピーハウスの発行する「ハッピー通信」で、吉井気功院
のことで知り、気功による治療を開始することにしました。

時々、痛がることはありますが、少しずつ食事もうまくできるように回復し
用意してもらった、自然と気功カードの上で横になり、事故の後遺症
で毎年入院していた、他の猫と同じくリラックスして過ごしています。